

日本在住外国人高齢者の将来を考えるフォーラム ～在日コリアン編～

在外高齢社会研究会

日程：平成25年9月25日（水）

会場：ふれあい館（神奈川県川崎市）

本フォーラムは在外高齢社会研究会の主催によるもので、同会は内閣府青年国際交流事業の一つである「青年社会活動コアリーダー育成プログラム（以下、「コアリーダー」）」の複数年度、複数分野の派遣者が結成し、生まれ育った国以外の国において高齢期を生活している在外高齢者に焦点をあてて調査研究啓蒙活動を行っています。

今回は、在日コリアンが多く住み、市民運動や地域活動が盛んである川崎市南部を取り上げ、在日一世と呼ばれる世代が高齢期を迎えている現状に目を向けつつ、年金制度の問題や、同じ地域でも時代によって変遷する外国人サポート、介護と文化的ルーツの関係等についてディスカッションしました。実行委員を含め、12名の参加者が集い学びの場を持ちました。

日程	内容
10:00	開会
10:30	「社会福祉法人 青丘社の取組について」（講演） 【講演者】ふれあい館 館長 三浦和人
11:30	周辺事業所見学
12:00	在日コリアン高齢者交流クラブ「トラジの会」参加、昼食
14:00	小グループ・ディスカッション
16:30	まとめ、講評
17:00	閉会
17:15	懇親会

<小グループ・ディスカッションで出た意見の一部(紹介)>

行政×組織×個人

- ・在日コリアンの高齢者は、社会制度上の不利益を克服しなければならない。
- ・サービスを提供する非営利組織が、彼らのニーズを理解して、機能することが大切。
- ・行政への情報提供や、行政とのパートナーシップの形成によって継続的に制度提案していく必要がある。

個人×寄り添い×地域

- ・在日コリアンの高齢者のみならず、育児中の方、障害者等への包括的な支援が必要であり、地域社会が寄り添うことが大切。
- ・保育園の運営やハンゲル講座等の研修事業は、在日コリアンに限ったサービスでなく、地域社会の課題を解決するというスタンスの非営利組織が、住民の理解を得ている。

個人×人間力×信念

- ・在日コリアンの高齢者に対して献身的なサポートをするためには、高齢者の不安やコンプレックスをも汲み取り、それぞれが思い描く幸せな人生を送るためにどのような協力ができるのか、という人間力をスタッフとして身に付け、また自らの仕事に信念をもつことが大切である。



ふれあい館三浦和人館長による講演



施設が運営する幼稚園では多国籍の幼児を受け入れている現状などを伺う



トラジの会ではハルモニ(おばあさん)たちに歌をプレゼントした



フォーラム全体での記念撮影